

あたたかなご厚志ありがとうございました。

3月

遺志金

故 西村 奈香江様 寄付
 故 宮澤 あゆ美様 寄付
 故 高木 きよみ様 寄付
 故 山田 けさ子様 寄付
 故 柳澤 惟一様 寄付
 故 小澤 太吉様 寄付
 故 白川 輝二様 寄付
 故 宮坂 俊二様 寄付
 故 小口 とみ子様 寄付
 故 関口 展立様 寄付

西村 今朝信様
 宮澤 真人様
 高木 毅様
 山田 喜保様
 柳澤 史彦様
 常盤 圭子様
 白川 佳伸様
 宮坂 明宏様
 小口 昭志様
 関口 泰幸様

4月

遺志金

故 小口 恵子様 寄付
 故 藤森 フサヨ様 寄付
 故 三井 恭介様 寄付
 故 中島 幸雄様 寄付
 故 徳田 安基様 寄付
 故 藤森 まつ子様 寄付
 故 高木 守様 寄付
 故 藤森 はるみ様 寄付
 故 小口 賢一様 寄付
 故 井上 定子様 寄付
 故 中村 倫章様 寄付
 故 小澤 八九男様 寄付
 故 山内 春衛様 寄付

小口 常夫様
 藤森 せつ子様
 三井 通雄様
 中島 智幸様
 徳田 孝子様
 藤森 孝一様
 高木 とみ江様
 藤森 正彦様
 小口 静恵様
 井上 喜行様
 中村 昌弘様
 小澤 卷夫様
 山内 満雄様

物品寄付
 小口 昭志様 介護用品
 津金 恒男様 一般寄付

アルミ缶収集
 ご協力ありがとうございます。
 増沢 君子様 高木 みわ子様
 湯田 トシコ様 安藤 宏子様
 河西 進様 花岡 茂様
 増田 富美子様 丸山 けさ子様
 仲町 匿名様 西沢 敏文様
 河西 洋子様

古切手・テレホンカードなど、
 ご協力ありがとうございます。
 宮下 武様 清水 朝子様
 岩本 のり子様 匿名様
 高木 国平様

東日本大震災・長野県北部地震 義援金及び義援物資

ご協力、誠にありがとうございました!!

受付期間：平成23年3月14日～4月26日
 総額：2,173,901円



この義援金及び物資は、
 下諏訪町を通じて、被災
 地に送らせて頂きました。

これもボランティア!!

ペットボトルのキャップで
 世界の子どもにワクチンを届けよう!!

総計 21,200個 (平成23年4月15日現在)
 《ポリオワクチン 26人分》

ゴミとして焼却処分されると、キャップ400個
 で、3,150gのCO₂が発生します。
 800個で、ポリオワクチン1人分になります。

ペットボトルのキャップ収集
 ご協力ありがとうございます。
 永田 保様 曾田 実子様
 中村 富美江様 高木 千代子様
 友野 美智子様 高木 次子様
 清水 朝子様 河西 宏様
 中村 たづ子様 野沢 由利子様
 藤森 とみ子様 斉藤 欽子様
 中村 礼夫様 志まや 両角寿美様
 中山 久子様 高木 匿名様
 高見沢 勝彦様
 立町 匿名様

寄稿

知ってほしい

わが愛しの 偉星人

その71

「支援」って?!

障がいを持つお子さんに関わる教育・療育、医療、福祉といった分野では、最近、さかんに「支援」ということばが使われます。少し前までは「指導」。ちょっと前までは「援助」、そして現在は「支援」…目まぐるしく用語が変わってきています。それは、それで、「上から目線」路線から脱却していこうという理念の表れとして、良いことだなあと思います。でも、何だかまだまだ「支援」ということばに「うさん臭さ」を感じて、抵抗感があります。

私は、このシリーズの「その68」に登場して下さった小学校1年生の「偉星人」君に、「支援」の一環と称して、月に1回おつきあいをいただいている、地域のリハビリテーションセンターの職員です。

でも、この「偉星人」君に、『支援』されているのは、どう考えても私の方なのです。

その1：「偉星人」君のおかげで、アイドルグループ「嵐」の曲をいっぱい覚え、若い職場仲間に「若いじゃん」とほめてもらっている。

その2：「偉星人」君が、「嵐」の曲に合わせて見事に踊る振りを、横で一生懸命真似して、いい汗をかかせてもらっている。

その3：「偉星人」君が、何とか相手に伝えようと不明瞭ながら一生懸命話すことばや身振りを理解しようと、老いが進む耳と目と頭をフル回転させ、老化の加速を抑えてもらっている。

その4：「偉星人」君とのおつきあいの中で、「障がい」を持つお子さんたちについて、教科書では得られない知識、情報を体得させてもらっている。

その5：そして、何より、何もかもが愛くるしい「偉星人」君に、いつも楽しいひと時を過ごさせてもらっている。

この他、まだまだあげるときりがありませんが、「偉星人」君に、それに見合ったお返しが何もできていないのは、心苦しい限りです。でも、月1回、お母さんといっしょに笑顔で来て下さるのは、少しは「支援」まがいのことができているのかも？（と、自分に言い聞かせるしかないのですが）

「偉星人」君に限らず、障がいを持つお子さんとそのご家族に関わる仕事をしていると、自分の人生を豊かにして、心の栄養を頂いている、つまり、「助けられている」のは、「こっち」だなあとすることばかりです。

だから、「支援」ということばが、おこがましくて使いにくく思えるのでしょうか。

この頁のタイトルの「共に支え合う」という表現は、とてもいいことばだと思います。支えられ、育てられていることに感謝しながら、今後も「偉星人」君はじめ多くのお子さんをご家族に少しでもお役にたてるよう努めていきたいと思えます。（リハビリテーション機関職員）

※編集にあたり、加筆・修正しております。



（下諏訪地区障害を持つ親の会 会員）